

# 排出削減実績報告書

## 排出削減事業の名称：

卸売市場における都市ガス焚き吸収冷温水機の  
更新による排出削減事業

排出削減事業者名：大田市場事務棟空調設備共同利用団体

排出削減事業共同実施者名：カーボンバンク 株式会社

その他関連事業者名：株式会社 ハリマビシステム

## 1 排出削減事業者の情報

排出削減事業者	
会社名	大田市場事務棟空調設備共同利用団体
排出削減事業を実施する事業所	
事業所名	大田市場 事務棟
住所	東京都大田区東海3-2-1
排出削減事業共同実施者(国内クレジット保有予定者)	
排出削減事業共同実施者名	カーボンバンク 株式会社
その他関連事業者(注)	
関連事業者名	株式会社 ハリマビシステム

(注) その他関連事業者とは、排出削減事業共同実施者とは別に、排出削減に寄与する設備機器の生産・販売者、国内クレジットの創出コストの低減を図る事業の集約を行う者等をいう。

## 2 排出削減事業概要

### 2.1 排出削減事業の名称

卸売市場における都市ガス焚き吸収冷温水機の更新による排出削減事業

### 2.2 排出削減事業の目的

都市ガス焚き吸収冷温水機を高効率のものに更新することにより、省エネルギーおよびCO2排出量削減を図る。

### 2.3 温室効果ガス排出量の削減方法

都市ガス焚き吸収冷温水機を高効率のものに更新することで、エネルギー効率を改善する。

### 2.4 国内クレジット認証要件の確認

排出削減量は承認排出削減計画に従って当該計画を実施した結果生じたものか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ
排出削減量は承認排出削減方法論及び承認排出削減事業計画に従って算定されているか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ

### 3 排出削減活動期間

#### 3.1 プロジェクト開始日

2009年 2月 19日

#### 3.2 モニタリング対象期間

(本報告における実績報告期間)

2013年 4月 1日 ~ 2016年 3月 31日

### 4 温室効果ガス排出削減量

#### 4.1 採用した排出削減方法論の情報

方法論番号	方法論名称
004	空調設備の更新

#### 4.2 活動量

##### 4.2.1 活動量・原単位

##### 4.2.2 活動量の採用根拠

#### 4.3 事業の範囲(バウンダリー)

バウンダリーは吸収冷温水機により空調が行われる範囲である。よって本事業では、対象事業所の建物内となる。

## 5 モニタリング対象指標

項目	定義	単位	実績値	モニタリング方法	(モニタリング方法に変更 ある場合、)変更理由
$F_{\text{fuel,P}}$	事業実施後の燃料使用量	$\text{Nm}^3/\text{年}$	冷房: 231,765 暖房: 218,329	ガス会社からの明細(冷温水機専用のガスメーター)に記載の使用量を $\text{Nm}^3$ へ換算 <sup>※</sup> する。 冷暖房の期間は以下の通りであるが、実績報告時に変更等がないことを確認する。 冷房: 5~10月, 暖房: 11月~4月	
$HV_{\text{fuel,PJ}}$	事業実施後燃料の単位発熱量	$\text{GJ}/\text{Nm}^3$	0.0440	デフォルト値を確認(2013年度)	
		$\text{GJ}/\text{Nm}^3$	0.0464	デフォルト値を確認(2014年度以降)	
$\varepsilon_{\text{PJ}}$	事業実施後空調COP	-	冷房: 1.24 暖房: 0.86	仕様書より算出	
$\varepsilon_{\text{BL}}$	事業実施前空調COP	-	冷房: 0.98 暖房: 0.80	仕様書より算出	
$\text{CEF}_{\text{fuel,PJ}}$	都市ガスの単位発熱量あたりの二酸化炭素排出係数	$\text{t-CO}_2/\text{GJ}$	0.0517	デフォルト値を確認	

※ モニタリング対象期間の東京都大田区での月平均気温および、中圧換算式(東京ガス提供)より算出。

## 7 排出削減量の計算

### 7.1 事業実施後排出量

活動量(Nm <sup>3</sup> )	単位発熱量	排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
162,612	0.0440	0.0517	369.9
287,482	0.0464	0.0517	689.6
EM <sub>Pj</sub>			1,059.5

※上段2013年度、下段2014年度以降

### 7.2 ベースライン排出量

活動量(GJ)		排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
24,042		0.0517	1243.0
EM <sub>BL</sub>			1,243.0

### 7.3 リークージ排出量

活動量	単位発熱量	排出係数	CO2排出量 (t-CO2)
LE			0

### 7.4 温室効果ガス排出削減量

項目	記号	CO2排出量 (t-CO2)
ベースライン排出量 (7.2)	EM <sub>BL</sub>	1,243.0
事業実施後排出量 (7.1)	EM <sub>Pj</sub>	1,059.5
リークージ排出量 (7.3)	LE	0
二酸化炭素排出削減量	ER	183

## 8 省エネルギー量

原油換算(kL)		
ベースライン(①)	実績(2)	ベースライン-実績(①)
620.3	549.2	71.1

$$\text{省エネ量} = 620.3 \text{ (kl)} - 549.2 \text{ (kl)} = 71.1 \text{ (kl)}$$

## 9 再生可能エネルギー利用量

	単位	モニタリング期間( 年 月 日 ~ 年 月 日)		
		エネルギー使用量(実績)	熱量換算(GJ)(実績)	原油換算(kl)(実績)
バイオマス利用量	t			
バイオマス熱利用量	GJ			
太陽光発電量	kWh			
温泉熱・温泉排熱利用量	GJ			
バイオコークス利用量	t			
太陽熱利用量	GJ			
小水力発電量	kWh			
雪氷融解水熱利用量	GJ			
風力発電量	kWh			
バイオディーゼル燃料使用量	kl			

・本事業において再生可能エネルギーは使用しない